



世田谷に学ぶ「エネルギーシフト」の取組み

牧嶋とよ子(座間市民ネット)

11/16

子ども子育て支援法の 具体化に向けて、国との円卓会議

11/12

内川ゆき子(厚木市民自治をめざす会/市議)

11月16日、世田谷区長の保坂展人さんを招き、発電都市を目指す世田谷区の取組みを伺いました。

保坂さんは東日本大震災による福島第1原発事故の翌月、「脱原発」を訴えて世田谷区長に当選しました。自治体から出来るエネルギーシフトへの実践としていち早くPPS導入や節電機器への切り替えを行ない、大口契約者に対する電気料金値上げにまつわる東電のトリックを暴きました。世田谷区の先駆的な取組みや東電への対応には、マスコミをはじめ多くの人々から関心が寄せられました。

さらには、民間主導による自然エネルギーの活用促進を図り地域経済の活性化に繋げる取り組みや、これまでの太陽光発電設置補助を止め、区の公社が各メーカーと交渉し大量発注することで、在庫を抱えることなく区民がより安価で設置が可能となる「せたがやソーラーさんさん事業」など、区長就任から1年半の間に様々な事業が実施されています。

今後は被災地をはじめ地方と

これからの保育・子育てを考えるプロジェクトでは、県内で子育て支援に関わるNPO団体と共に「子ども・子育て関連3法案」について、国(内閣府・厚労省・文科省)担当者、国会議員も交えた円卓会議を行ないました。

これまでプロジェクトで行なってきた現場調査、各自自治体比較から見えてきた課題をもとに、一時預かりや小規模保育の基準、居宅訪問型保育など

これからの保育・子育てを考えるプロジェクトでは、県内で子育て支援に関わるNPO団体と共に「子ども・子育て関連3法案」について、国(内閣府・厚労省・文科省)担当者、国会議員も交えた円卓会議を行ないました。

これまでプロジェクトで行なってきた現場調査、各自自治体比較から見えてきた課題をもとに、一時預かりや小規模保育の基準、居宅訪問型保育など



各地域ネット2012年衆院選への取組み結果

12月16日投開票の衆議院議員選挙に向けて各地域ネットは、神奈川ネットの基本政策に引き寄せ、情勢を捉えて以下の通り推薦・支持を決めました。

選挙区	候補者	政党	対応(地域ネット)	結果
3区	岡本英子	未来	市民自治をめざす神奈川の会	推薦 落
10区	城島光力	民主	幸市民ネット	推薦 落
12区	阿部知子	未来	ネット・藤沢	推薦 当(比)
16区	後藤祐一	民主	厚木市民自治をめざす会/ネット・伊勢原	支持 当(比)
18区	樋高剛	未来	ネット・宮前/ネット・高津Weネット	推薦 落

(方針決定・承認した地域ネットを掲載)
比例区については、8地域ネットが日本未来の党を推薦、6地域ネットが支持。また、1地域ネットが民主党を推薦しました。

の連携を図り、自然エネルギーによる電気をグリーンエネルギー送電により、今は東電以外の電気を選べない一般家庭でも可能とすることや、安心して安全な食材を供給する生協が、今後は安心で安全な電気も共同購入できる仕組みへの模索が始まっています。

長年、エネルギー政策は国主導で進んできました。しかし、世田谷区の実践と今後の展望に学び、多くの地方自治体からエネルギー



「問題だらけのリニア中央新幹線」ニュース発行のお知らせ

シフトへの実践モデルを示すことで、電力供給システム改革への道筋と、確実な脱原発への足がかりとなることを確認することができました。

問い合わせは
ネット事務局
まで

について問題提起をしたあと、意見交換しました。

それぞれの制度の具体的な内容については、国の子ども・子育て会議で大枠を決めますが、各自自治体でのニーズ調査や計画策定が重要になってきます。各自自治体での会議設置は「努力義務」とされていますが、必要とする保育の量や子育て支援策は各

にできるものではありません。各地域ごとの地方版子ども・子育て会議の設置は必須です。また、以前行なわれたニーズ調査では、調査対象の偏りがあつた自治体もあります。今後、ニーズ調査の実施にあたっては、質問項目の内容や対象者の偏りをなくするための検討が必要です。

子どもの育ちを社会全体で支援していくために、実効性のあつた制度改善、地域の特性に合わせた制度となるよう、各自自治体議会に提案していきます。

神奈川ネットは、地域政党です。

生活の課題は政治に直結しています。

国の政党が、地方の政治までコントロールするのはなく多様な地域政党が政策を競い住みやすいまちをつくる社会をめざします。

どれど政治だよ。

今月の神奈川ネット

■市民の生活・活動法律相談:12/19(水) ■新春のつどい実行委員会:12/20(木) ■第10回運営委員会:12/26(水) ■これからの保育・子育て支援を考えるPJ:12/26(水) ■共育研修:1/15(火)~16(水) ■市民の生活・活動法律相談:1/16(水) ■新春のつどい:1/18(金)

編集後記

▼衆議院選では自公が圧勝し、法案再可決も可能となった。日本維新の会も54議席となったが、知事や政令市長等を途中で投げ出した人まで当選▼民主党への失望がこの結果を招いたが、これでタカ派が幅を利かし、一気に憲法改正に動くのか▼原発は次々と再稼働し、TPPに参加して農業と健康保険は大打撃を受ける。防災に名を借りた公共事業が復活し、消費税増税▼暗い未来しか見えないが、でもめげない場合じゃない。やるべきことは一人ひとりにある。(C.M)

意見交換会

11/30 市民社会チャレンジ基金の価値を検証

佐藤喜美子(検証チーム座長/ネットあさお)

休止となっていた市民社会チャレンジ基金は、今年度検証チームを立ちあげ、「市民社会を強くする取組みとなつてきたか、制度に「つくりかえる」神奈川ネットの活動の原点を捉え直しながら、新たな市民社会チャレンジ基金に向かう検討を進めていきます。

審査委員からは、「市民活動の実践から社会的なニーズを掘り出した人を支援する基金であり、ここからの課題を政治団体として政策につなげることが必要」など、多くの示唆に富んだアドバイスをいただきました。また、検証チームメンバーからは、「あらためてその価値が分かった。実績を問わない基金は他に類がなく、ヒアリング調査でもそれぞれの団体の活動の面白さを感じていた。もっとメンバーと共感し合う方策が必要だった」など、次につながる意見が出されました。

現在、地域の中では、多くの市民活動が制度の枠組みと闘いながら、社会を変える取組みを進めています。そのような現場の課題

『市民社会チャレンジ基金』は、市民による社会を変えていくためのチャレンジを応援するために、神奈川ネットが2001年に創設した基金です。

市民社会チャレンジ基金 分野別助成団体一覧 2008(15期)~2012(21期) 総額20,144,900円(50件)

- Ⅰ. 全国の女性・市民による政策提案を目的とする「ローカルパーティ」の立ち上げに必要な資金への助成(助成件数0)
 - Ⅱ. 全国のローカルパーティや無所属の女性議員およびNPOが行うチャレンジ性のある政策開発に必要な資金への助成(助成件数6)【第15期】NPO法人POSSE/NPO法人ビビ親子サポートネット障害児の居場所事業「となりのいえ」運営W.Co LaCasa/WILLTOWNPROJECT/つづき青葉ここクラブ【第16期】SAY-PeacePROJECT【第17期】特定非営利活動法人東京・垂井/特定非営利活動法人横浜市障害者自立支援センター/NPO法人返り咲きササチオオフィス/共同の家プラン【第18期】NPO地域づくり工房【第20期】NPO法人POSSE【第21期】NPO法人食と農のまちづくりネットワーク
 - Ⅲ. 神奈川県内のチャレンジ性のあるNPOの立ち上げや活動に必要な資金への助成(助成件数85)【第15期】財団法人現代人形劇センター/NPO法人りんぐりんぐ/特定非営利活動法人横浜市障害者自立支援センター/ハートフル・コミュニケーション/特定非営利活動法人いそご元気サポート/多文化まちづくり工房【第16期】NPO法人たま・あさお精神保健福祉をすすめる会地域活動支援センターがあでん・らららファミリー支援団体katakata./NPO法人Enjoyment/ママ&キッズに優しい町、二宮を目指す会【第17期】NPO法人湘南いこいの里/ソーシャルファーム大磯/ヌジュミ(女性のギャンブル依存症者のためのリハビリセンター)/パソコン・コミュニケーション・アシストビビコ【第18期】地域活動支援センター川崎きた作業所/NPO法人木バト/NPO法人ぶかぶかグループfufu/乗合バス運行準備会/「水俣」を子どもたちに伝えるネットワーク/TOKYOアイズ/映像製作委員会/特定非営利活動法人ワーカース・コレクティブ協会/NPO法人カブカブ/Safety Kidsいずみ/あんしん農園/NPO法人こども未来じゅく保育園小さなほし【第19期】保育室みつばち/湘南鍵楽団地域活性事業部/特定非営利活動法人大磯図書館同人大きなおうち/NAOS(ネーオス)NPO法人立ち上げ準備室/特定非営利活動法人はむるの会/特定非営利活動法人Arch/県立みどり養護学校PTA自主サークルさんふれんず/パソコン・コミュニケーション・アシストビビコ【第20期】NPO法人しらべ/特定非営利活動法人ウイメンズハウス・花みずき/ワーカース・コレクティブくれよん【第21期】不育症そだてねっと
- (助成団体一覧2001年~2007年は、情報紙NET NO.270に掲載)